



「八時間」1951年

企画展
堂本印象の人物画

時代を映す貌かたち

2000年8月1日【火】—11月5日【日】

- 休館日＝月曜日(但し、10/9・10/23は開館) ■開館時間＝午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入館料＝一般 500(400)円／高大生 400(320)円／小中生 200(160)円()内は20名以上の団体料金
- 特別行事＝●大文字・夜間特別開館 [8月16日(水) 午後9時まで]
●堂本印象旧居(別館)秋季特別公開 [10月20日(金)～24日(火)] 呈茶 [10月22日(日)]
●特別講演会 京都市立芸術大学非常勤講師 今井 淳氏 [11月3日(金・祝) 午後2時～]

京都府立 堂本印象美術館

立命館大学正門前

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL.075-463-0007

企画展 堂本印象の人物画

～時代を映す貌かたち～

人物画は、洋の東西を問わず古くから絵画の中心をなしてきました。本来は特定個人の特徴を表す肖像画をさしますが、神と人が同形である神話などから主題を得た神話画や、擬人法を用いた寓意画、史実や想像に基づき再現された歴史画、あるいは裸体画、風俗画なども広義には人物画といえるでしょう。

堂本印象が大正から昭和までに制作した人物画の対象は多岐に及びます。また、その表現方法も一つのスタイルに止まらず様々な変貌を遂げました。

本展は人物を主題に取り上げた代表作により、その技法や表現の変遷を紹介しながら、それらが描かれた時代を併せ観ようとするものです。なお、本展では当館新収蔵の『楠公父子(1944年・戦時特別文展)』が初出品されます。どうぞ、ご鑑賞下さい。



「楠公父子」1944年



「洛陽女子」1923年



「錠」1951年

〔特別行事〕

- 大文字・夜間特別開館 8月16日(水) 午後9時まで
3Fサロンから大文字送り火を鑑賞
- 列品解説 10月8日(日) 午後2時～ 当館2階展示室
当館学芸員による作品解説

- 堂本印象旧居(別館) 秋季特別公開
10月20日(金)～24日(火) 呈茶10月22日(日)
- 特別講演会
11月3日(金・祝) 午後2時～ 堂本印象旧居(別館)
京都市立芸術大学非常勤講師 今井 淳氏による講演会

※〈特別講演会〉以外は入館料のみ必要となります。

京都府立 堂本印象美術館

立命館大学正門前

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL.075-463-0007

- 開館時間＝午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入館料＝一般 500(400)円
高次生 400(320)円
小中生 200(160)円 ()内は20名以上の団体料金

●交通機関

JR京都駅より市バス(50)、JRバス(立命館大学前経由)、阪急電車烏丸駅より市バス(12)(65)、京阪電車三条駅より市バス(12)(15)(59)にて、いずれも「立命館大学前」下車。

